

2018年5月期 第2四半期 決算説明会

2018年1月17日

株式会社 三機サービス (証券コード:6044)

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。

社名	株式会社三機サービス
設立	1977年7月
資本金	383,927千円
従業員数	連結 361名(2017年5月末現在)
代表者名	代表取締役社長 中島 義兼
本社	兵庫県姫路市阿保甲576番地1
主な事業内容	<p>トータルメンテナンス事業 主に小売店・外食店等の多店舗展開企業から、様々な設備・機器の一括メンテナンスアウトソーシングを受託する事業</p> <p>メーカーメンテナンス事業 主にパナソニック社製の業務用空調機器のメーカーサービスを行っている事業</p> <p>省エネ事業 当社が得意とする業務用大型空調機向けの省エネ化工事や、LED工事などの省エネ化に関する事業</p>
企業目標	技術とノウハウを内在した、 日本一のメンテナンス会社になる

2018年5月期第2四半期ハイライト	3
当社の特徴	11
2018年5月期 通期業績予想	21
今後の展望	23
株価の状況・株主還元について	26

2018年5月期第2四半期ハイライト

売上高

5,279百万円

前年同期比
124.2%
計画対比
110.3%



営業利益

381百万円

前年同期比
140.3%
計画対比
141.6%



四半期純利益

262百万円

前年同期比
139.4%
計画対比
147.0%



- ✓ 売上高、営業利益、四半期純利益すべて、過去最高を更新
- ✓ 前年同期比、計画対比ともに大幅にクリア
- ✓ 昨年末(12月28日)に第2四半期の上方修正を実施、通期は据え置き

売上高

5,279百万円

前期比 124.2%

営業利益

381百万円

前期比 140.3%

四半期業績の推移

(百万円)



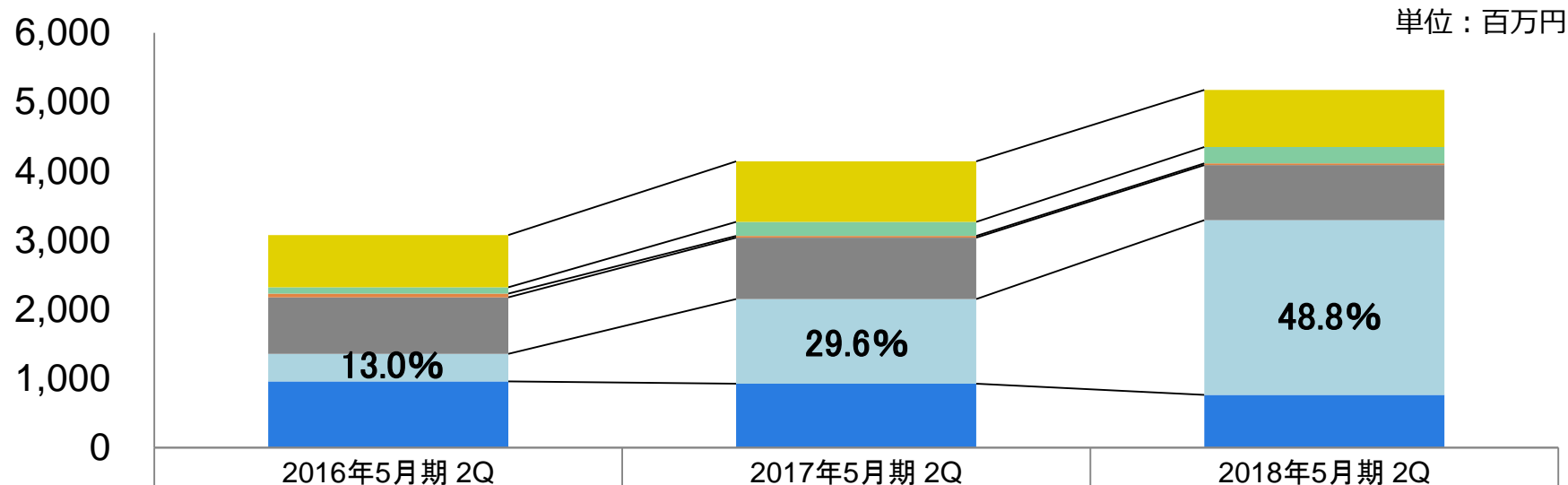
前年同期比

(百万円)	2017年5月期 1Q	2018年5月期 1Q	前期比(%)	2017年5月期 2Q	2018年5月期 2Q	前期比(%)
売上高	1,868	2,125	113.8	4,249	5,279	124.2
売上総利益	338	422	124.9	891	1,155	129.6
売上総利益率(%)	18.1	19.9	-	21.0	21.9	-
営業利益	25	28	112.0	271	381	140.3
営業利益率(%)	1.3	1.3	-	6.4	7.2	-
四半期純利益	16	20	121.0	188	262	139.4

◆ 前年度から開始した大手コンビニ様の業務を想定以上に受注した事、3Qに予定していた省エネ工事を前倒し受注したことにより、前期比で大幅に増収となった。

◆ メンテナンス部門の稼働率が上がった事等により営業利益率も改善する。

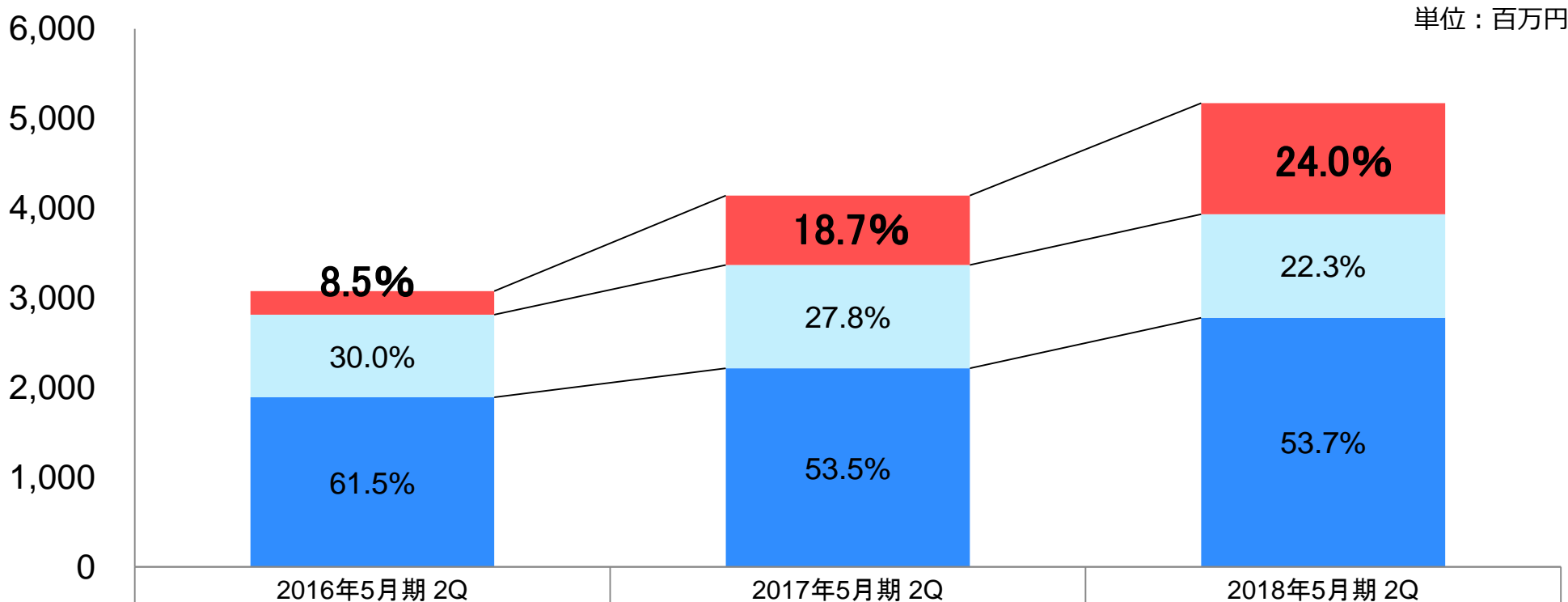
小売業向けの取引が大幅に拡大、2年間で半期で約5割を占める構成に成長
 まだまだ拡大が見込めるターゲットとし取引拡大を目指す



	2016年5月期 2Q	2017年5月期 2Q	2018年5月期 2Q
06.その他	756	876	825
05.医療・介護・福祉	91	202	235
04.イベント施設	55	24	25
03.設備管理・不動産	816	888	796
02.小売業	399	1,224	2,528
01.飲食	957	926	762
合計	3,074	4,140	5,171

※ 数値は単体数値をベースに出してあります。

効率のいい定期業務の構成割合が大幅に増えた事により、利益率が改善
 売上総利益率(21.0% → 21.9%) 営業利益率(6.4% → 7.2%)

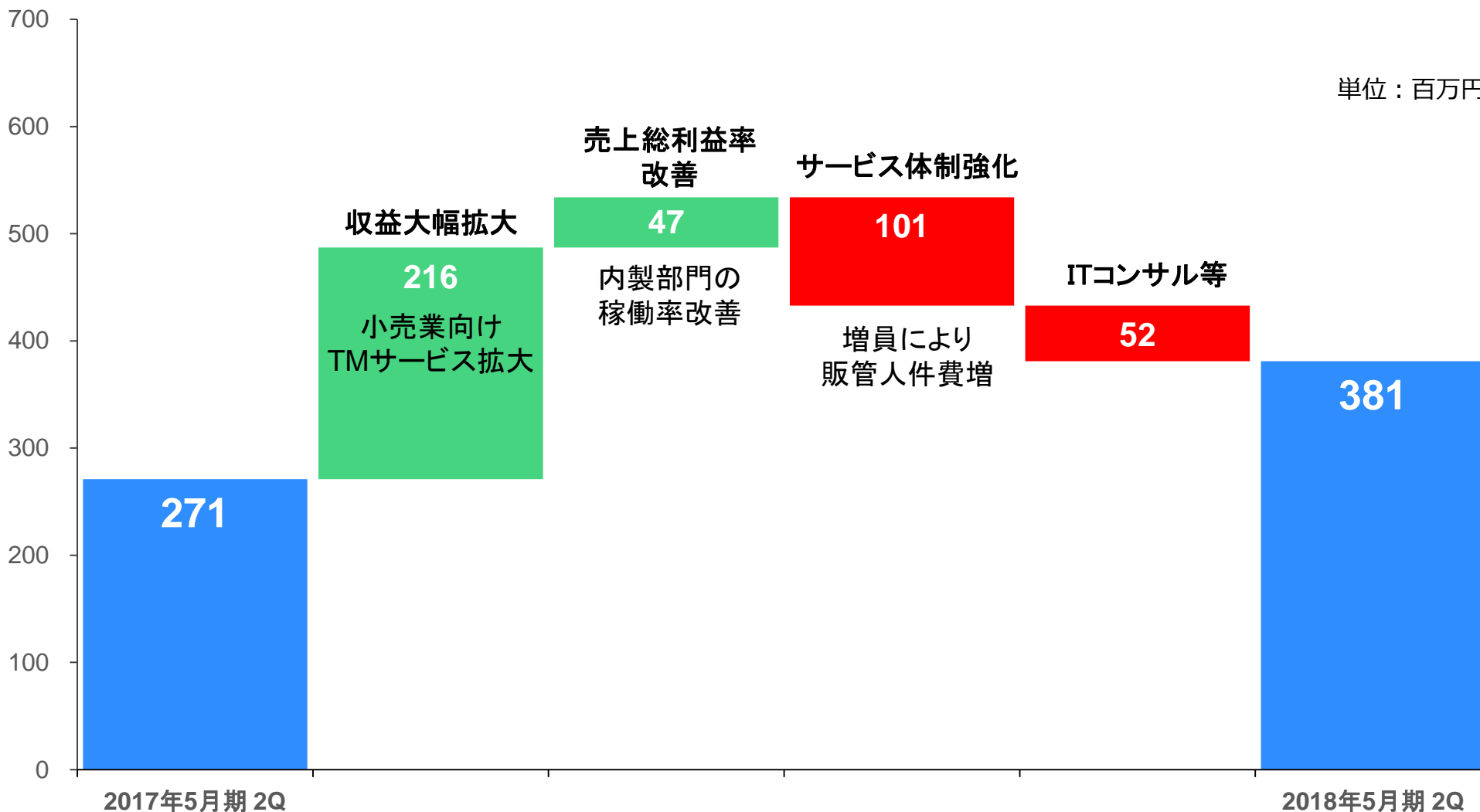


	2016年5月期 2Q	2017年5月期 2Q	2018年5月期 2Q
■ 定期	262	773	1,239
■ 工事	922	1,152	1,153
■ 修理	1,890	2,214	2,779

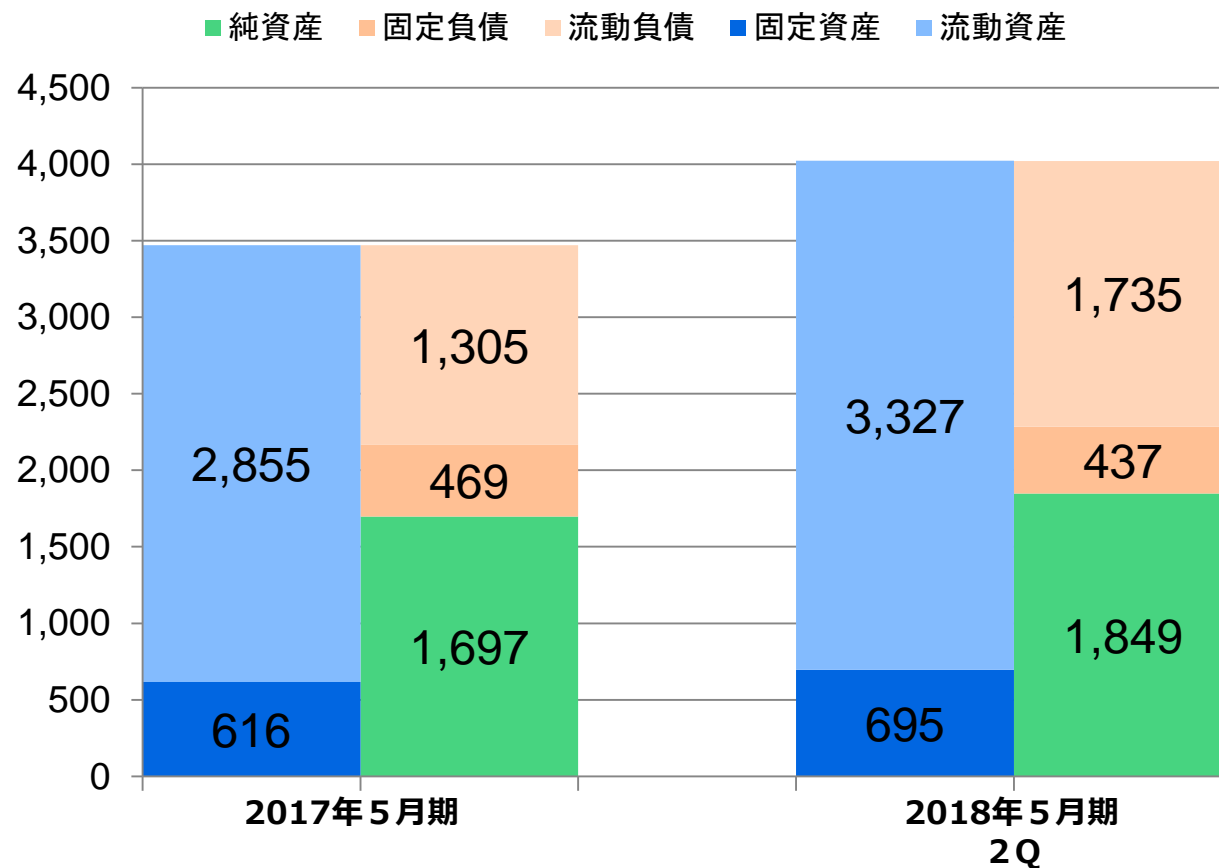
※ 数値は単体数値をベースに出してあります。

小売業向けの取引が大幅に拡大したことによる利益の増加が主な要因

内製部門の稼働率も同時に改善



単位：百万円



主な増減要因

単位：百万円

(資産)

- △211 現金及び預金
- +636 売掛債権
- + 44 未成工事支出金
- + 19 ソフトウェア
- + 58 投資有価証券

(負債)

- +443 工事未払金等
- △ 30 長期借入金

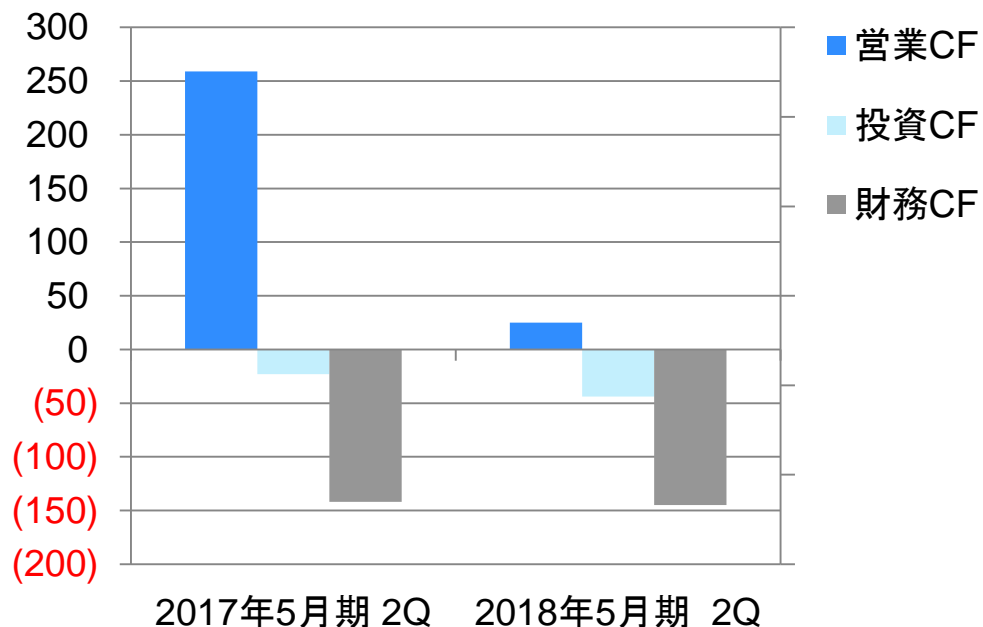
(純資産)

- +262 当期純利益
- △112 配当金の支払

自己資本比率

48.9% → 46.0%

夏場の繁忙期の案件や大型工事の影響により、2Qでは自己資本比率が低下していますが通期では50%台になる予定



単位：百万円

	2017年 5月期 2Q	2018年 5月期 2Q	増減
営業活動CF	259	25	△234
投資活動CF	△23	△44	△21
財務活動CF	△142	△145	△3
期末残高	685	651	△33

前年との変化の主な要因

営業活動CF

- +113 税引前当期純利益の増加
- △507 売上債権の増加
- +243 仕入債務の増加
- △ 42 法人税等の支払額の増加

投資活動CF

- △ 20 ソフトウェア

財務活動CF

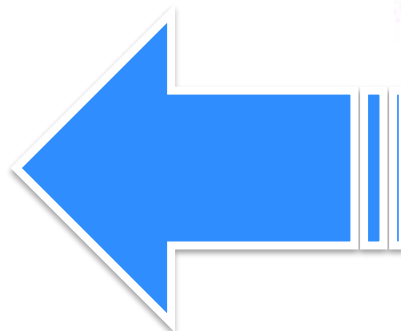
- + 22 長期借入金の返済の減少
- △ 28 配当金支払額の増加

当社の特徴 1

業務用大型空調機メンテナンスの実績



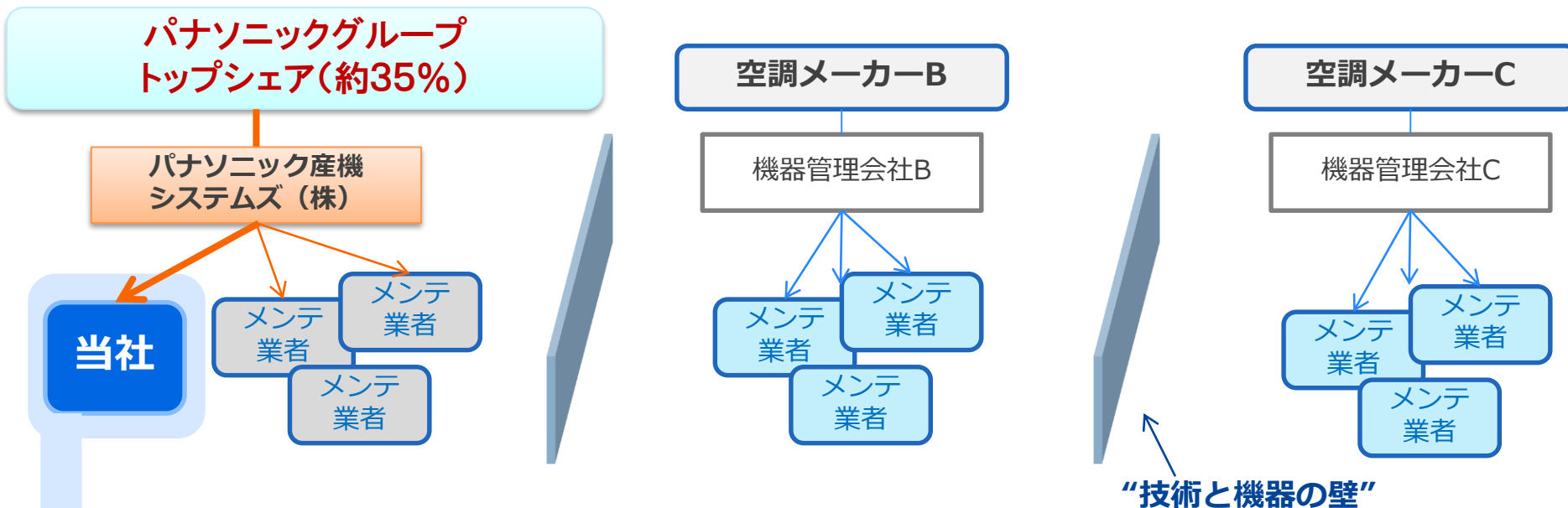
パナソニック社製 大型空調機



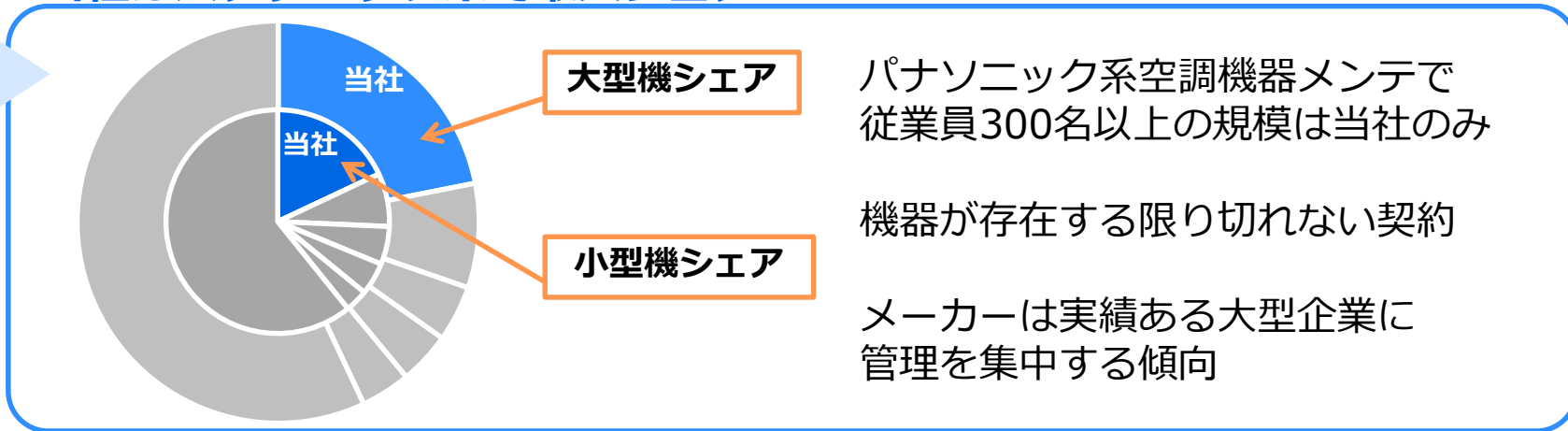
巨大空間に設置される大型空調機の
定期保守・修理対応等を実施

近年は省エネ化提案も活性化

概要：空調機器管理は“縦割り構造”：新規参入がほぼ無いニッチ産業

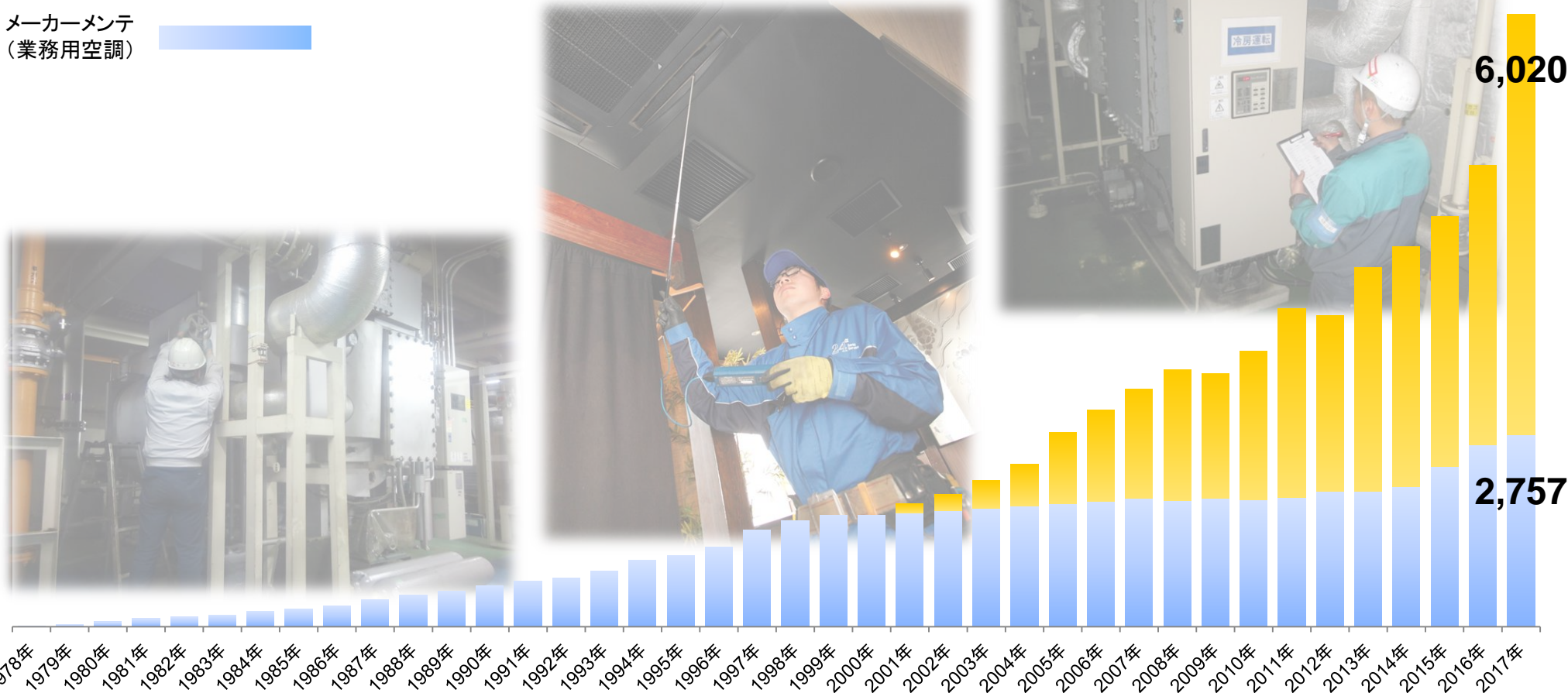


当社はパナソニック系で最大シェア



当社の特徴 1 業務用大型空調機のメンテナンス実績

トータルメンテ
メーカーメンテ
(業務用空調)



40年の業務用大型空調機のメンテナンスにより蓄積された技術とノウハウ

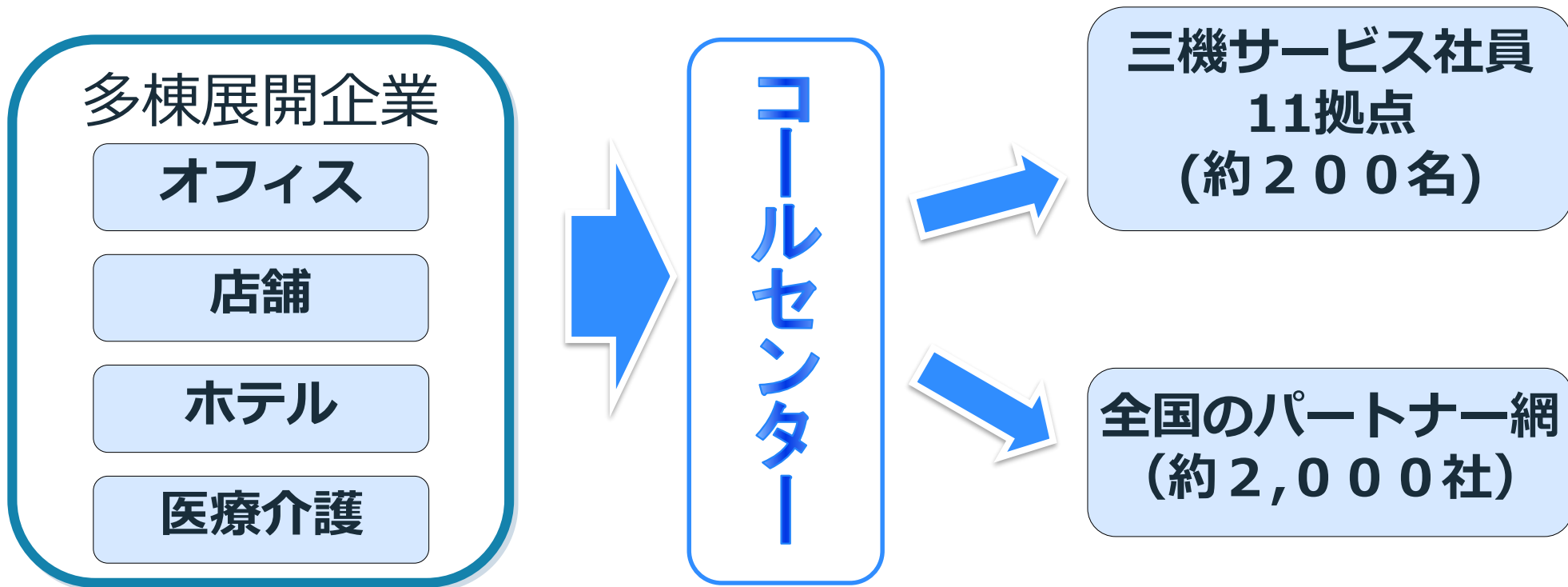
当社の特徴 2

全国対応可能なメンテナンス対応システム

全国の様々な修理・メンテナンスに対応

コールセンターを受付窓口とし、

受け付けたエリアや内容により手配を行う

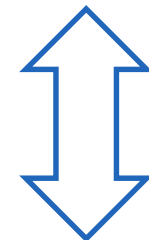
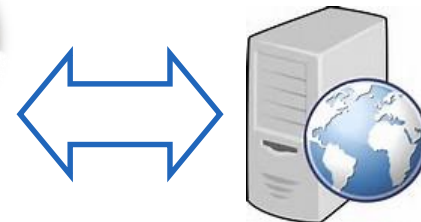


コンビニ、スーパー、
飲食店、ドラッグストア等の
多店舗展開企業がお客様



三機サービス
コールセンター

WEBシステム



チェーン店
本部様

全国店舗のあらゆる設備を三機サービスで一括管理

本部様とWEBシステムで情報共有

適切なメンテナンスコストの管理と本部様の省力化を実現

総合的な施設管理業務を専門家として本部様を代行し戦略的な施設保全の企画・運営を行います。

◆ 全ての施設管理・設備保守管理の一括管理

- 常駐管理 ●日常清掃 ●定期清掃 ●警備・保安 ●エレベータ ●受変電設備 ●廃棄物管理
- 消防設備 ●特定建築物 ●防虫防鼠 ●受水槽 ●浄化槽 ●フロン点検 ●空気環境測定
- 水質検査 ●レンタルマット ●屋外広告物 ●巡回点検 ●清掃備品

◆ 修繕24時間365日受付対応～出勤～進捗確認～請求までの一元管理

- 空調設備 ●給排水設備 ●電気設備 ●厨房設備 ●内装 ●外構 ●看板 ●消防設備

WEBシステムにて全店舗の修繕履歴や金額の確認が出来ます。

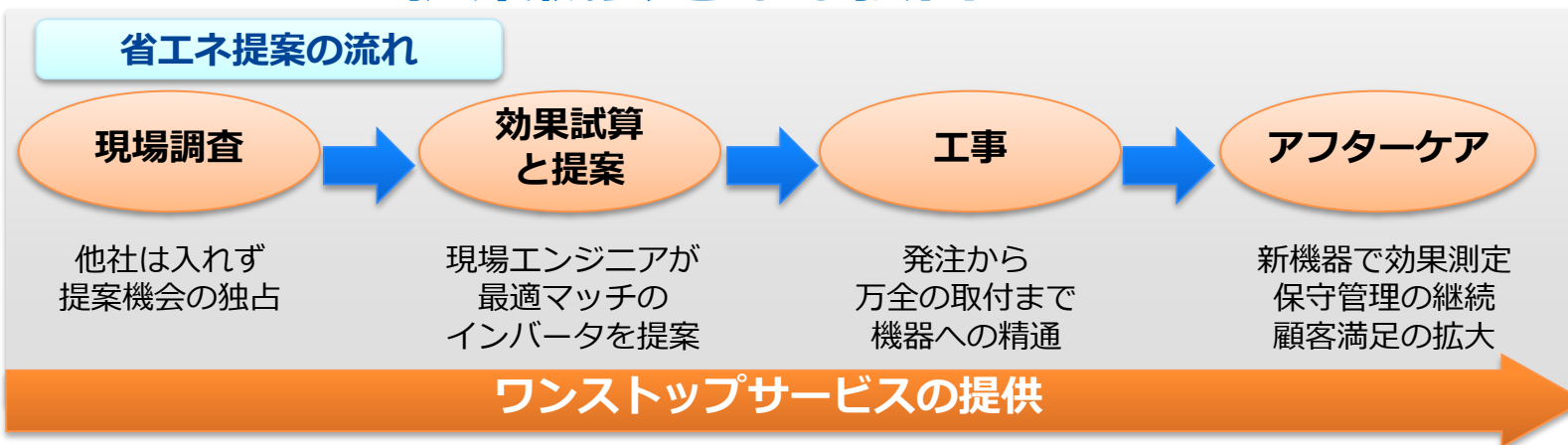
- ◆ 代行業務(年度予算作成・停電作業立会い・物損保険事故対応・オーバースペック見直し)
- ◆ コンプライアンス対応(法改正対応・行政届出対応・官公庁立ち入り検査対応)
- ◆ 新店・改装業務対応(警備計画・消防計画等、清掃・防虫防鼠・テナント入替対応)

間接コストも含めたコスト削減

当社の特徴 3

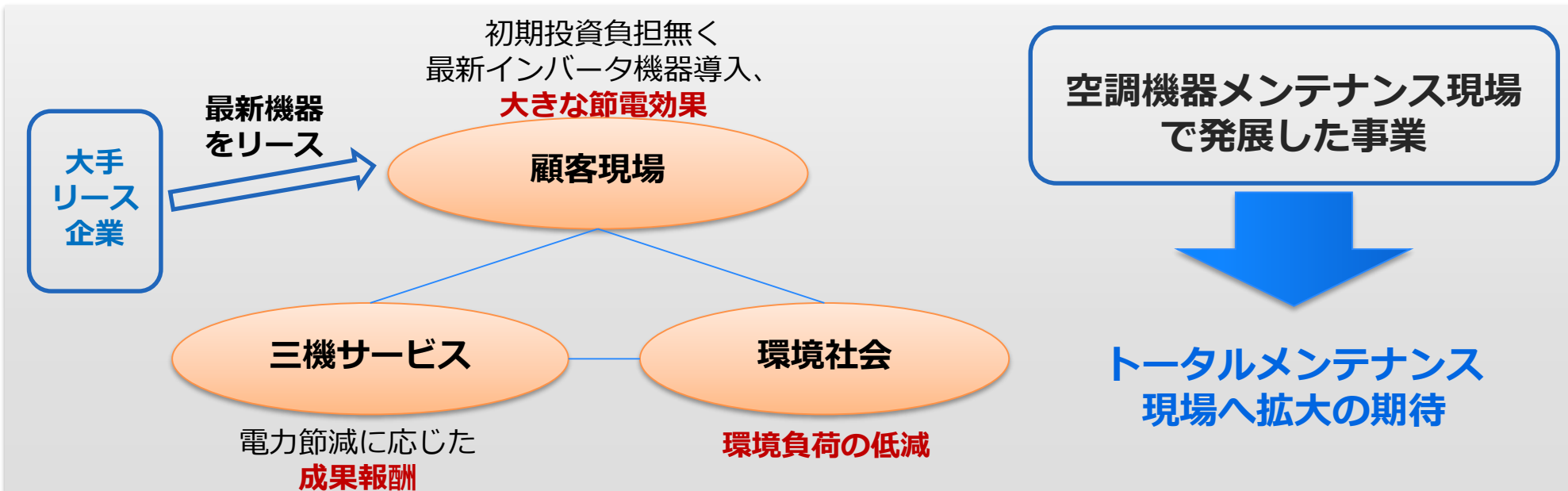
メンテナンス実績に裏打ちされた
信頼性のある省エネ・省コスト提案

機器管理現場で、提案機会をほぼ独占



インバータ制御導入

大手リースとの提携により、初期投資負担なく最新インバータ機器導入



2018年5月期 通期業績予測

第2四半期上方修正を実施したが、通期の業績予想は据え置く
来年度を見据え体制強化のための大幅な増員を予定

	2017年5月期		2018年5月期 計画		2018年5月期 2Q		対前期	
	(百万円)	利益率・配当性 向(%)	(百万円)	利益率・配当性 向(%)	(百万円)	進捗率(%)	増減(百万円)	成長率(%)
売上高	8,777	—	10,000	—	5,279	52.8	1,223	113.9
営業利益	538	6.1	630	6.3	381	60.5	92	117.1
経常利益	533	6.1	623	6.2	383	61.5	90	116.9
当期純利益	360	4.1	417	4.1	262	62.8	57	115.8
一株当たり 当期純利益	(円) 64.53	—	(円) 74.61	—	—	—	(円) 10.08	—
期末 配当予想	(円) 20.0	(%) 31.0	(円) 23.0	(%) 30.8	—	—	(円) 3.0	—

今後の展望

1. 突発修理から予防保全へ

- メンテナンス事業は突発修理が多い
 - ✓ 壊れる前の保全メンテナンスを実施しない先はまだ多い
- 突発修理はお客様にとっても、サービス会社にとっても良いこと無し
 - ✓ 機会損失
 - ✓ 費用が割高
 - ✓ 対応スピードにも限界



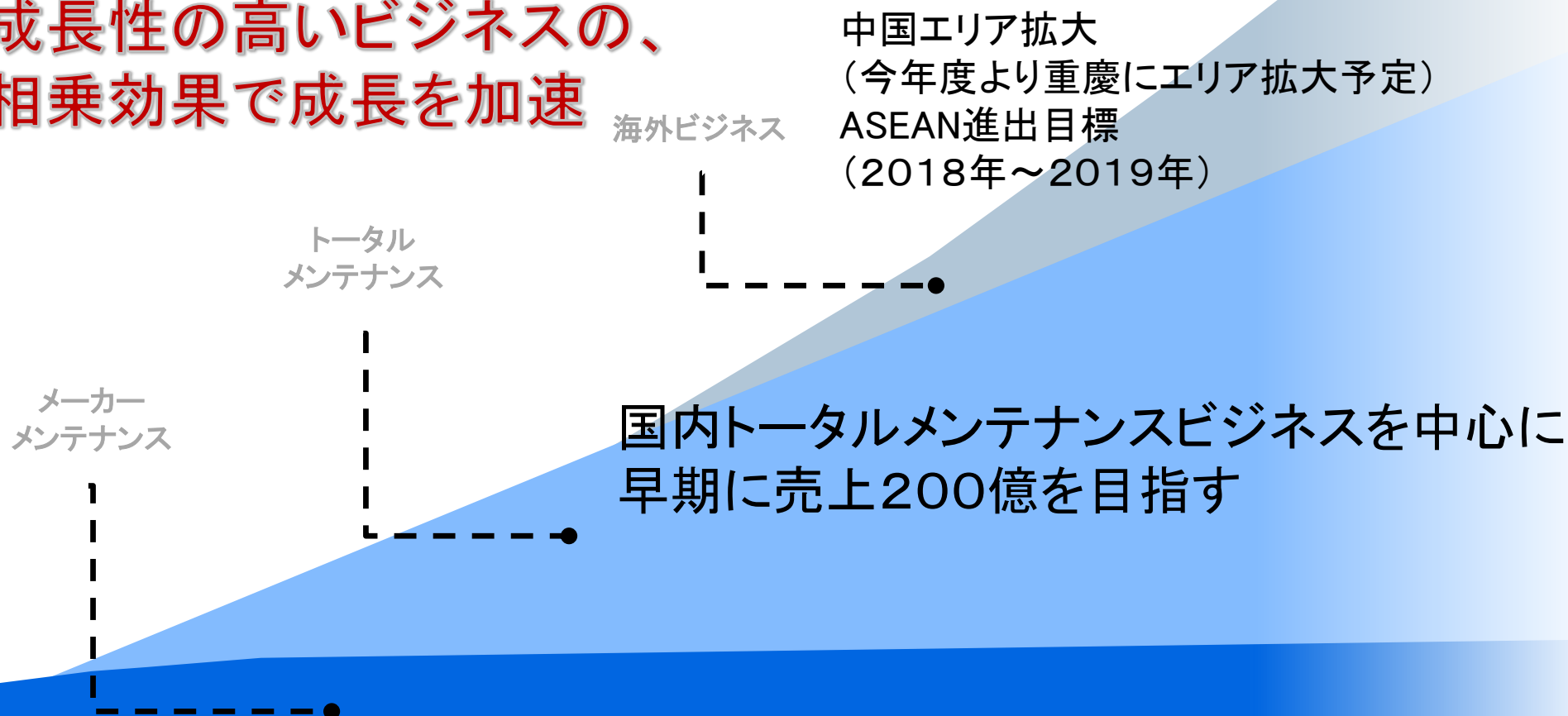
突発修理を減らす為、予防保全の為の
定期メンテナンス実施

今後は
IoT活用も想定

2. 価格統制、適正価格の提示

- ガリバーがないメンテナンス業界のサービス提供価格は業界として統制されているとはいえない状況
- 小売業向けへのメンテナンス等、圧倒的シェアを背景に適正価格の提示ができるよう価格統制を行う

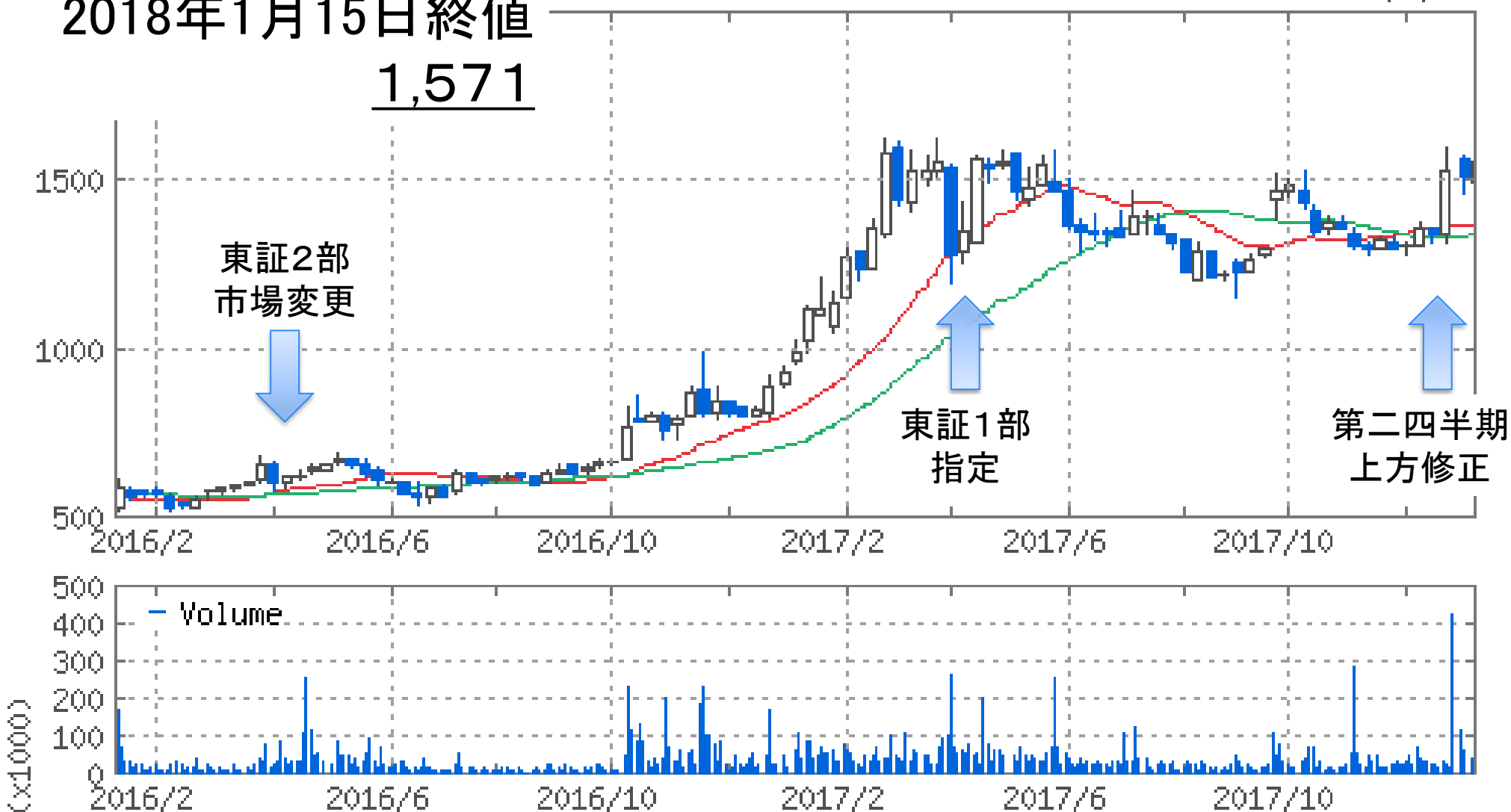
安定的な高利益率ビジネスと、
成長性の高いビジネスの、
相乗効果で成長を加速



株価の状況・株主還元について

2018/1/10

2018年1月15日終値
1,571



(C) 2018 Yahoo Japan Corporation.

<https://stocks.finance.yahoo.co.jp>

2017年10月10日現在

配当政策

- 経営成績及び財務状態を勘案したうえで、**配当性向30%**を目途に利益還元
- 2018年5月期は**23円(3円増配)**を予定
- 内部留保については、企業体質の強化及び将来の事業展開のための財源として利用（海外進出、研修設備強化、ITシステム強化、M&A等）

株主優待制度

長期的に当社の株式を保有して頂く株主様の増加を目的として、
保有株式数 1単元(100株)以上に対し、1,000円分のクオカードを配布

技術とノウハウを内在した
日本一のメンテナンス会社を目指します

株式会社 三機サービス

ご清聴いただき、ありがとうございました